令和８年６月１日

介護老人保健施設の経営実態・存続に関する緊急調査

（最終結果報告人材版）



公益社団法人全国老人保健施設協会

1

介護老人保健施設の経営実態・存続に関する緊急調査（概要）

【調査対象】　公益社団法人全国老人保健施設協会　正会員施設　3,474施設
【調査期間】　令和８年４月10日（金）14：00～４月30日（木）12：00締切（20日間）
【回答状況】　2,585施設回答（5月21日最終締切）　締切り後PUSH
【回 答 率】　74.4%

【全老健】介護老人保健施設 経営実態・存続に関するアンケート　設問項目

※○：必須項目　●：該当者の方のみ回答

A. 施設の基本属性

○貴施設の都道府県名(リストから選択してください)

○施設名をご記入ください。

○本アンケートにご回答頂いた方のお名前（職種等）をご記入ください。
※回答内容についてお問い合わせさせて頂く場合がありますので。

○貴施設の電話番号をご記入ください。

○貴施設における施設類型（在宅復帰・在宅療養支援指標等）を教えてください。
（令和8年4月現在）
□超強化型　□在宅強化型　□加算型　□基本型　□その他型　□療養型老健

○施設入所者の平均要介護度を教えて下さい。
※少数点第一位までの数字のみをご記入ください。

B. 稼働・経営の状況について

○過去５年間の稼働率の推移を教えてください。
□上昇している　□ほぼ変わらない　□低下している

●稼働率が「低下している」と回答された方にお伺いします。
稼働率が低下している主な理由を教えてください。（複数回答可）
□人員不足による受け入れ制限　□医療ニーズへの対応が困難
□利用者の減少（需要がない）　□その他(自由記述)

○現在の経営状況を教えてください。
□黒字で安定している　□収支はほぼ均衡している
□赤字（経営：継続可能な範囲）　□赤字（深刻：経営継続が厳しい）

○経営を圧迫している要因を教えてください。（複数選択可）
□人件費の増大（ベア対応、派遣職員の利用増加等）□採用難による欠員
□光熱費・物価の高騰　□近隣競合施設の影響　□加算取得の困難さ
□建物・設備の老朽化　□経営層の高齢化・後継者不在　□需要の減少（稼働率低下）
□医療ニーズの高い利用者への対応困難　□その他(自由記述)

○現在の介護報酬体系は、貴施設のコスト構造に見合っていますか。
□令和６年度介護報酬改定により改善傾向にある　□概ね妥当
□やや見合わない　□全く見合わない

C. 人員不足の状況について

○現在、特に不足していると感じている職種を教えて下さい。（複数回答可）
□介護職員　□看護職員　□医師　□リハビリ職（PT・OT・ST）
□管理栄養士・栄養士　□管理職・事務職　□ケアマネジャー　□その他(自由記述)

○直近１年で、人員基準維持のために行った対策を教えて下さい。（複数回答可）
□派遣職員の導入　□紹介会社の利用　□ハローワークの利用　□スポットワークの利用
□外国人材の採用　□職員の賃金引き上げ　□離職防止の取り組み　□その他(自由記載)

○紹介会社への支払手数料は経営の負担になっていますか。
□利用していない　□あまり負担でない　□やや負担　□非常に負担

○負担軽減に向けて ICT の導入を進めていますか。
□積極的に導入している　□一部導入している　□検討中である　□導入していない

●ICT を「導入していない」と回答頂いた方にお伺いします。
「導入していない」主な理由を教えて下さい。（複数選択可）
□導入資金がない（費用対効果が合わない）　□ランニングコストの負担が大きい
□人員削減につながらない　□現場の負担が大きい。
□その他(自由記述)

D. 建物・設備の状況

○貴施設建物の築年数をご記入ください。（数字のみ記入）

○建物の老朽化状況について教えてください。
□問題ない　□一部修繕が必要　□大規模修繕が必要　□建て替えが必要

○建て替えや大規模修繕を検討したことはありますか？
□すでに実施した　□検討中である　□検討したが断念した　□検討したことがない

●建て替えや大規模修繕について「検討したが断念した」と回答した方にお伺いします。検討を断念した主な理由を教えてください。（複数選択可）
□自己資金が確保できない　□金融機関からの借入が難しい
□経営の先行きが不透明　□人員確保が見込めない　□建設費・修繕費の高騰
□公的補助金が活用しにくい　□その他(自由記述)

●建て替えや大規模修繕について「検討したが断念した」と回答した方にお伺いします。検討を断念した具体的内容を教えてください。（複数選択可）
□建物本体の修繕(外装・構造)　□付帯設備の更新(空調・電気・消防・昇降機等)
□内装・居住環境の改善　□その他(自由記述)

E. 後継者・継承問題について

○施設の経営・運営を引き継ぐ後継者はいらっしゃいますか？
□すでにいる　□候補者はいるが未定
□探しているが見つかっていない　□後継者はいない

○今後５年以内の事業継続について、廃業や事業縮小を検討する可能性はありますか？
□可能性は低い　□状況次第では検討する
□高い可能性がある　□すでに具体的に検討している

●廃業や事業縮小について「高い可能性がある」又は「既に具体的に検討している」と回答した方にお伺いします。検討している事項を教えて下さい。（複数選択可）
□他法人への M&A(譲渡)　□事業所縮小　□廃業
□業態転換(介護医療院などへの転換)　□その他(自由記載)

○廃業を検討する場合の主な要因は何だと思いますか？
□人員不足　□後継者不在　□経営悪化　□建物・設備の老朽化
□制度改正・報酬の影響　□その他(自由記述)

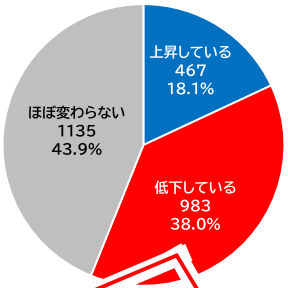
○支援があれば事業継続できると感じる項目はどれでしょうか？（複数選択可）
□建て替え・修繕への補助金　□人材確保への支援　□経営改善の専門家支援
□事業承継支援　□特にない　□その他(自由記載)

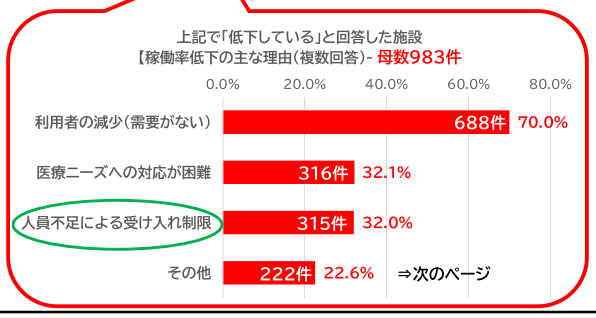
2

©2026 公益社団法人全国老人保健施設協会

介護老人保健施設の経営実態・存続に関する緊急調査（主な回答状況）

【過去5年間の稼働率の推移】





【施設類型別の稼働率の推移】

施設類型	上昇	横ばい	低下	回答数
超強化型	22.2%	47.2%	30.6%	964
在宅強化型	21.2%	41.5%	37.2%	325
加算型	15.6%	40.8%	43.5%	767
基本型	12.6%	42.6%	44.8%	444
その他型	8.3%	45.8%	45.8%	48
療養型老健	10.8%	56.8%	32.4%	37

※赤数字は全体の割合より上位を示す

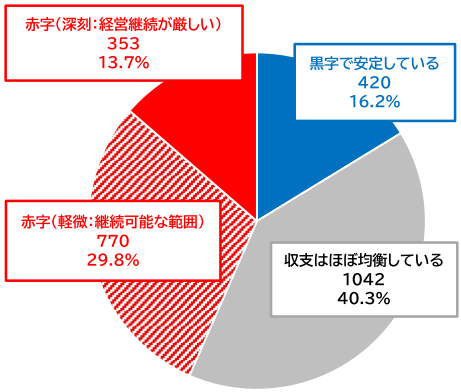
【施設類型別の平均要介護度】

施設類型	施設数	平均要介護度
超強化型	964	3.19
在宅強化型	325	3.15
加算型	767	3.09
基本型	444	3.08
その他型	48	3.14
療養型老健	37	3.46
全　体	2585	3.14

3

介護老人保健施設の経営実態・存続に関する緊急調査（主な回答状況）

【現在の経営状況】



赤字施設(軽微+深刻) 43.5%
深刻な赤字施設　　13.7%

【施設類型別の経営状況】

施設類型	黒字安定	収支均衡	赤字合計	(軽微な赤字)	(深刻な赤字)
超強化型	23.3%	43.1%	33.6%	24.0%	9.6%
在宅強化型	18.5%	40.6%	40.9%	28.6%	12.3%
加算型	10.4%	38.7%	50.9%	36.2%	14.7%
基本型	8.3%	37.8%	53.9%	37.2%	16.7%
その他型	6.3%	35.4%	58.4%	39.6%	18.8%
療養型老健	10.8%	43.2%	45.9%	32.4%	13.5%

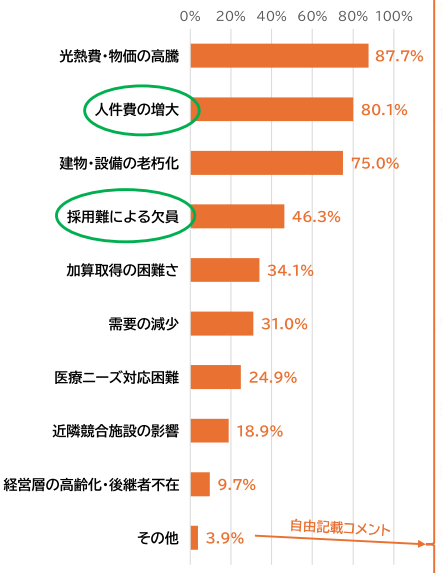
＝全体の割合より上位

4

©2026 公益社団法人全国老人保健施設協会

介護老人保健施設の経営実態・存続に関する緊急調査（主な回答状況）

【経営を圧迫している要因】



● 「経営を圧迫している要因」における「その他」のコメント（全数 2585：うち「その他」102 件の内訳）
回答の中には複数の要因を挙げているものがあるため、件数はそれらを個別にカウントした延べ数です。

1. 人材紹介手数料・採用コストの増加（約 33 件）
「人件費（給与）」そのものではなく、職員を確保するための「紹介会社への多額の手数料」や、外国人材の受け入れ・支援に伴う諸経費が経営を強く圧迫しているという回答が非常に多く見られます。
【 内　　容 】人材紹介会社への紹介料高騰、看護師等の紹介手数料、外国人職員の採用・教育・登録支援機関への費用。
【特徴的な回答】「採用はできているが、紹介手数料が高すぎる」といった、採用難とは別のコスト面での苦悩が吐露されています。

2. 給食・清掃等の業務委託費の高騰（約 15 件）
光熱費や物価高騰とは別に、外部の専門業者に委託している「サービス料金の値上げ」が収益を削っています。
【 内　　容 】給食委託費の上昇、清掃・寝具等の委託費値上げ、委託業者の廃業や人手不足による経費増。
【特徴的な回答】委託費は上がる一方で、利用者からの食費などは簡単に上げられないという板挟みの状況が指摘されています。

3. 介護報酬・診療報酬制度の課題（約 13 件）
介護報酬の単価設定そのものが低いことや、「薬剤費が基本報酬に含まれる（包括化）制度」による持ち出しの増加が指摘されています。
【 内　　容 】介護報酬・基本報酬の低さ、薬剤費（特に高額薬）の包括による負担増、診療報酬改定による病院からの退院流動の変化。
【特徴的な回答】「収入が変わらないのに経費だけが増加している」という構造的な問題が挙げられています。

4. 財務・税金・設備投資の負担（約 9 件）
借入金の返済や税金、設備の維持更新にかかる費用です。
【 内　　容 】建設時の借入金・企業債の償還、減価償却費、不動産取得税、固定資産税、PC 端末等の更新費用。
【特徴的な回答】開設間もない施設の初期投資負担や、老朽化に伴う「資産更新」費用の増大が挙げられています。

5. 職員の高齢化・労働環境の課題（約 8 件）
経営層だけでなく、現場で働く**職員自身の高齢化**や、働き方改革への対応が課題となっています。
【 内　　容 】現場職員の平均年齢上昇、役職者の定年退職、若手採用の困難、働き方改革による悪影響。

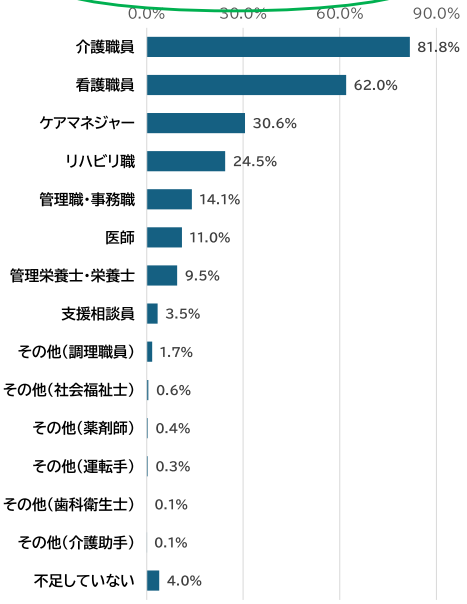
6. 感染症への対応と補助金の減少（約 7 件）
新型コロナウイルスに関連する直接的なコスト増と、制度変更による影響です。
【 内　　容 】感染症発生時の衛生材料・検査キット購入費、クラスター対応、コロナ 5 類移行に伴う補助金の減少。

7. 併設・母体組織の経営状況（約 5 件）
老健単体ではなく、法人全体や併設する病院の状況に左右されるケースです。
【 内　　容 】併設・母体病院の経営悪化による補填、法人全体の経営危機。

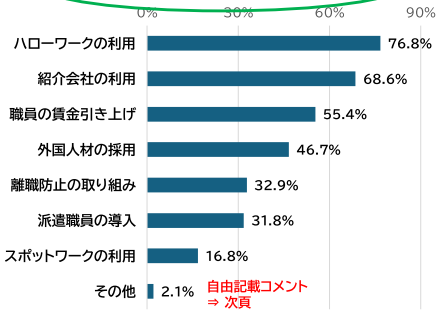
8. 運営方針・地域性・その他（約 12 件）
【 内　　容 】地域の人口減少、在宅復帰支援への理解不足、法令委員会の多忙さ、病院からの紹介件数の減少、本部経費の分担など。

介護老人保健施設の経営実態・存続に関する緊急調査（主な回答状況）

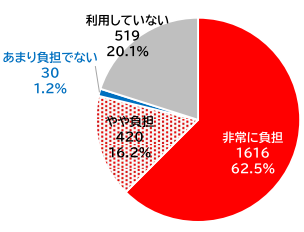
【現在不足していると感じている職種】



【直近1年で人員基準維持のための対策】



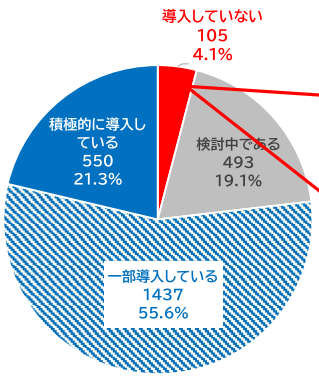
【紹介会社手数料負担】



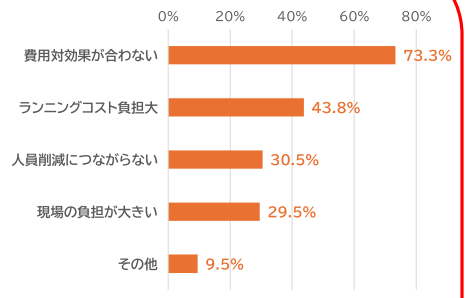
©2026 公益社団法人全国老人保健施設協会

介護老人保健施設の経営実態・存続に関する緊急調査（主な回答状況）

【ICT導入状況】



【ICT非導入の理由】



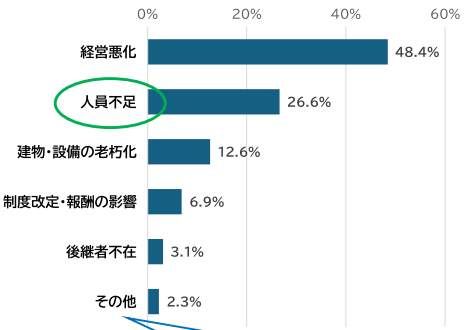
● ICT を「導入していない」理由における「その他」のコメント（全数 105：うち「その他」10 件の内訳）

1. 法人等の意向
   - ・本部判断の為、詳細不明
   - ・法人の理解が得られない
   - ・決裁下りない
   - ・経営陣での方針決定待ち
   - ・経営側が導入しようとしない
   - ・本社の意向でない
2. ICT を使いこなせる職員の不在
3. 報告書などが煩雑
4. 独自スタイルで導入
5. セキュリティー面の問題

7

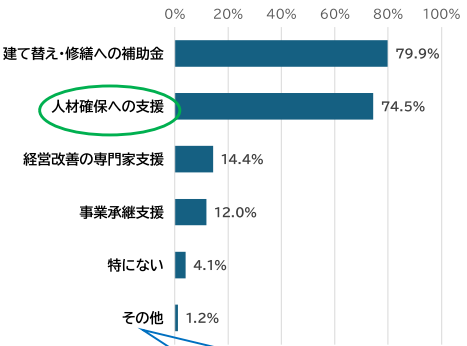
介護老人保健施設の経営実態・存続に関する緊急調査（主な回答状況）

【廃業を検討する主な要因】



① 需要減少・人口減少による利用者確保困難
② 医師確保の困難
③ 人件費・物価高騰への対応困難
④ 法人・自治体の経営判断
⑤ 併設病院・法人本体の経営悪化
⑥ 事業再編・業態転換

【支援があれば事業継続できると感じる項目】



① 介護報酬の引上げ・抜本的見直し
② 物価高騰対策支援
③ 医療提供体制支援
④ ICT・DX投資支援
⑤ 介護機器・設備更新支援
⑥ 採用コスト支援
⑦ 修繕工事期間中の経営支援（空床補償）
⑧ 制度・評価体系の見直し

8

©2026 公益社団法人全国老人保健施設協会